

各 位

会社名 株式会社 成学社
 代表者 代表取締役社長 太田明弘
 (JASDAQ・コード2179)
 問合せ先 取締役経営企画部長 藤田正人
 電 話 06-6373-1595

平成 28 年 3 月期第 2 四半期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 27 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 27 年 4 月 1 日から平成 27 年 9 月 30 日まで)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値と実績値との差異について

(1) 平成 28 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	5,030	△ 5	15	△ 2	△ 0.38
今回修正予想(B)	4,836	△ 27	△ 41	△ 50	△ 8.79
増減額(B-A)	△ 194	△ 22	△ 57	△ 47	
増減率(%)	△ 3.9	—	—	—	
(参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	4,789	53	39	△ 8	△ 1.50

(2) 平成 28 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想値との差異

	売上高	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	4,776	7	△ 5	△ 0.93
今回修正予想(B)	4,608	△ 43	△ 50	△ 8.83
増減額(B-A)	△ 167	△ 51	△ 44	
増減率(%)	△ 3.5	—	—	
(参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	4,492	34	△ 12	△ 2.10

2. 差異の理由について

<連結業績>

売上高については、主に9月に見込んでいたオプション授業の売上計上時期がずれ込んだことにより、前回発表の予想値を下回ることとなりました。売上高が予想値を下回ったことに伴い、営業損失は予想値より拡大いたしました。

経常利益については、上半期に予定していた認可保育園の開園がなく、これに伴う補助金収入がなかったため、経常損失を計上するに至りました。これに伴い、四半期純利益も予想値を下回ることとなりました。

<個別業績>

個別業績につきましても、連結業績と同様の差異が生じております。

平成28年3月期の通期業績予想につきましては、9月に売上計上を見込んでいたオプション授業はほぼ計画の水準で推移していること、当社グループの事業の特性として第3四半期の収益性が最も高いこと等を勘案し、現時点では平成27年5月15日に公表しました内容に変更はありません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上